

大学の世界展開力強化事業 構想概要 立命館アジア太平洋大学

【構想の名称】(タイプB-I)

APU-SEUグローバル協働教育プログラム—入学前教育から大学教養・専門教育まで

【構想の概要】

米国のセント・エドワーズ大学(以下、SEU)と協働で、入学前から大学教養・専門教育までの学位取得プロセスにおいて国際水準の質の高い教育プログラムを構築し、言語力、コミュニケーション力、異文化理解力、広い視野と実践力・応用力、批判的・創造的思考力を持ったグローバル人材の育成を目指す。

■ プログラムの目的・養成する人材像

幅広い知識とその応用力をもったグローバル人材の育成

世界の多様な政治、経済、社会、文化等に関する総合的な理解にたち、国際社会、環境と開発、ビジネス等に関する基礎的及び専門的知識を修得し、言語力、コミュニケーション能力、問題解決能力等を涵養し、世界が直面する多様な諸問題・諸課題を解決に導くことのできる人材育成を目指す。

〈 SEUキャンパスの風景 〉



■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

(1)入学前留学プログラム	立命館アジア太平洋大学(以下、APU)入学予定者に対し、入学直前の3月にSEUへ短期留学するプログラムを提供する。言語レベルの把握と強化、異文化体験、大学4年間の目標設計を通じて、入学後の国際教育プログラム参加へのイメージを掴ませる。
(2)積み上げ式協働教養プログラム	APU・SEU両大学の強みを活かし、自大学、相手大学、または第3の場所(タイ・マレーシア)において、多様で幅広い教養教育を学ぶプログラムを提供する。
(3)協働ダブル・ディグリー・プログラム	APU・SEU両大学で開講される教養教育と専門教育を体系的に学び、4年間で両大学の学位取得を可能とするプログラムを提供する。
(4)キャップ・ストーン科目	上記のプログラムによって得られた多様で広範な知識を統合し、専門教育に繋げる科目を学生の学びの段階に応じて提供する。

上記の取組みを通じて、教養教育、専門教育、留学等によるアクティブ・ラーニングの体系化を図り、国際水準の成績評価、単位認定制度、ラーニング・アグリメントを整備し、国際教育のモデルを構築する。

〈 APU卒業式の風景 〉



■ 教育内容の可視化・成果の普及

教育内容の可視化

- ・ポートフォリオにより、学生の学び、各プログラムの成果検証。
- ・日米の学外有識者等を含めたレビューによる客観評価。

成果の普及

- ・大学ホームページやリーフレット等の媒体による情報発信。
- ・国内の研修会や海外で開催される国際会議(NAFSA等)において、国内外の大学に向けて成果発表、国際教育のモデル提示。
- ・韓国の大学等、国内外の他大学との応用・展開。

■ 学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

APU学生の派遣

参加プログラムに応じた事前授業やガイダンス、アドバイジングを実施し、学修・生活の両面で、円滑なプログラム参加へ繋げる支援体制を置く。各プログラムにおける単位認定の詳細については、留学前にラーニング・アグリメントの徹底を図る。

留学生の受入れ

既にAPUが導入している春・秋入学、クォーター制(4学期制)、日英2言語対応、国際標準の成績評価(GPA制度)、国際教育寮(学生アシスタントが支援を行う大学寮)等に加え、本プログラムに対応したアドバイジング体制を置く。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

APU学生の派遣

初年度より入学前留学プログラムを実施し、年間20名派遣する。積み上げ式協働教養プログラムにおいて、各プログラム15名程度、協働ダブル・ディグリー・プログラムにおいて年間5名(3年目より)の派遣を目指す。

留学生の受入れ

積み上げ式協働教養プログラムにおいて、各プログラム10~20名程度(※右表以外に、タイ・マレーシアへSEU学生を15名程度派遣)、協働ダブル・ディグリー・プログラムにおいて年間5名(3年目より)の受入れを目指す。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	20	50	70	70	70
学生の受入	20	30	35	35	35

〈 のべ人数 〉